

<週報No. 2, 889> 3000回例会

2019年7月28日(日)

■会長/玉本 広人 ■幹事/山田 文雄

◆ゲストビジター=京都産業大学名誉教授 所功先生

◆会長告知・玉本広人会長=この第3000回記念納涼家



族例会に先立ちまして開催いたしました記念講演会の講師を務めていただきました所先生、本当にありがとうございました。先生との仲立ち

ちをしてご縁をつないでくださいました小林恭一さんに改めて感謝を申し上げます。また、時間のない中で事前の準備から当日の会場設営、進行、受付、記録など朝倉3000回例会準備委員長を中心にご協力をいただきました会員の皆様に尊敬の念を深め心からの御礼を申し上げます。この記念すべき3000回例会を多くのご家族の皆さんと共に祝いできることは本当に喜ばしいことです。後ほど河田親睦副委員長からも詳しい説明がありますが、節目の例会では、それぞれ記念となる事業を行っています。さらに1000回は昭和、2000回は平成、そして3000回は令和とそれぞれ違う時代に迎えています。それだけ1000回の積み重ねには、時代を超えた重みがあるという事だと思います。

それぞれの記念例会の間には、それを紡ぐ通常の例会が積み重ねられてきました。ロータリーの奉仕の理想の実践に向けて企画された、実に多岐にわたる内容です。それぞれの委員会のテーマにのっとりた会員やゲストの方の卓話や職場訪問。ご家族と共に親睦を深めたバスハイクやお花見など。またローターアクト・米山奨学生との交流や宿泊例会・早朝例会、太田さんが中心になって進めていただいた予測アンケートなどもありました。私が入会させていただき出席した初めての例会が第2368回例会ですので、これまで600回以上の例会に参加しています。会員の皆様のお仕事ぶりや人柄を感じさせていただき、ロータリーの事について学び、あるいは海外の話や地域の課題など、どれも興味深く飽きることのない例会を通じて楽しくロータリーライフを送らせていただいておりますが、驚くべきことに、三井さんや太田さんは1968年からですから、実に2500回近く例会に出席な

さっておりますのでまだまだ足元にも及びません。ここまで積み上げていただいた先輩たちに改めて感謝を申し上げます。先程の先生のお話の中で、令和の時代は、家族を思い、地域を思い、国を思い皆がそれぞれ出来る事をやる時代にしようとなりました。これこそロータリーの奉仕の心そのものだと感じました。諏訪クラブの血となり肉となったこれまでの3000回の積み重ねに、また新たなステップを刻み、ますます社会に必要とされるクラブとなるようこれからも楽しく例会での研鑽をつんでいきましょう。本日はありがとうございました。

◆幹事報告・山田文雄幹事=①理事会報告：入会審査の2回目が行われました。職業分類委員会・会員選考委員会の勧告を受け、審議の結果承認されました。八十二銀行執行役員諏訪支店長、前田剛彦さんです。推薦人は太田会員、藤森会員です。入会に異議のある方は7日以内に幹事宛申しつけ下さい。②3000回例会の詳細計画が報告されました。③11日より使用されております事務局専用回線設置費用の処理について報告がなされました。④3000回例会記念講演会を素晴らしい内容で行うことができました。関係各位にお礼申し上げます。引き続き記念納涼家族例会を親睦・クラブ親善委員会の担当で行いますのでお楽しみください。小平委員長に於かれましては大変お疲れかと思っておりますがよろしくお願ひいたします。⑤来週は会員増強・拡大月間の中で、会員増強・選考・分類委員会の担当で行います。⑥瀬戸ロータリークラブより祝電が入っておりますので披露させていただきます。「第3000回例会を迎えられ、心よりご祝福申し上げます。1957年の創立から3000回の例会をつないで来られた事に敬意を表すとともに、更に未来につながる事を祈念致します。」





◆今後の例会日程

8月 2日	金	会員増強・拡大月間
8月 9日	金	クラブ協議会
8月 16日	金	法定休日